

令和3年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学1年 英語科
教科担当	渡慶次 尚司
教科書名	ONE WORLD
副教材名	・ New English Notebook ① ・ エイゴラボ①

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中生徒のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動（思考・判断・表現等）」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力（＝学びに向かう力）」を育成することにつながります。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 英語科の学習について

学習のねらい	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
授業のすすめ方	(1) 始めと終わりのあいさつは英語で行う。 (2) ウォームアップ活動（Warm-up Conversation, Warm-up Reading, Tango de go）を交互に行う。 (3) 今日のめあてと Can-do（B 評価）を確認して学習を始める。 主な活動 ・ 主体的な学びを実現するために、様々なパターンの「ペア活動」や「グループ活動」を取り入れる。 ・ 深い学びを実現するために、互いの考えを伝え合ったあと、情報を整理し、自分の考えを再構築する活動を取り入れる。 (4) まとめに、自己評価表をチェックして今日の英文と振り返りを書く。
学習上の留意点	・ 英語は、積み重ねで力がつく教科なので、コツコツと粘り強く学習に取り組もう。特に単語を覚えることは大切。単語を、①見て読める→②見ないで言える→③正しく書けるの段階でマスターしよう。 ・ 主語と動詞を意識して写本をしよう。英語の並びに慣れて、特徴をつかもう。 ・ 英文を読むときは、チャンク（意味のまとまり）でとらえることを意識しよう。英文を前から日本語に訳していく習慣をつけ、読むスピードをアップしよう。（リスニングの力にもつながる） ・ 英作文は、間違ってもいいので指定された条件の語数を書くようにしよう。スペルミスや文法は全然 OK! 自分の考えや意見を伝える姿勢を大切にしよう。

2 評価について

評価方法	・ 3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」で評価します。 □ 知識・技能は、正確さをみます。（定期テスト、単元テスト、スキット活動、リスニングテスト、スピーチ活動、英語の課題作品、インタビューテストなど） □ 思考・判断・表現は適切さと内容をみます。（定期テスト、単元テスト、スキット活動、リスニングテスト、スピーチ活動、英語の課題作品、インタビューテストなど） □ 主体的に学習に取り組む態度は活動の取り組み、自己調整力をみます。（授業の活動の様子、パフォーマンステストの取り組み、ワークシートの記述、諸テスト、自己評価カードの記述）
定期テスト	□ 単元ごとのテストを行います。 □ 定期テストの範囲は、1週間前までには提示します。 □ 試験範囲の単語や文法、教科書本文やリスニング、他に授業で行った活動や英作文も出題されます。 □ 学びのたしかめや県到達度テストを意識した問題を出題します。

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	・ Spring board アルファベット、ローマ字表（ヘボン式） ・ Classroom English ○ Lesson1 Hello, New Friends	教科書、ノート、ワーク
5月	○ Lesson2 Taking with Friends ・ Grammar	
6月	○ Lesson3 My Favorite Perdon ・ Grammar	
7月	○ Lesson4 Our Summer Stories ・ Review / Task ・ Tips ① for Writing	
8月	・ Reading1 Fox and Tiger	
9月	○ Lesson5 School Life in Two Countries ・ Reveiw/ Task ・ Grammar ・ Tips ② for Listening	
10月	○ Lesson6 Lunch in Chinatown ・ Reveiw/ Task ・ Grammar ・ Tips ③ for Reading ・ Useful Expressions	
11月	○ Lesson7 Symbols and Signs ・ Review/ Task ・ Grammar ・ Project1	
12月	・ Reading2 An OldWoman and a Dog ○ Lesson8 Holiday in Hokkaido ・ Review / Task ・ Grammar ・ Tips ④ for Listening	
1月	○ Lesson9 Helping the Planet ・ Reveiw / Task ・ Grammar ・ Project2 ・ Reading3 The Golden Dipper	
2月		1学期定期テスト 6月17日（木）～ 18日（金）
3月	・ Further Reading The letter	2学期期末テスト 11月25日（木） ～26日（金）
		学年末テスト 2月8日（火）～10日（木） 県到達度調査 2月17日（木）～18日（金）

4 授業をうける心構え

授業

- （1）英語は外国語。できなくて当たり前。失敗を恐れずに前向きに学習しましょう。
- （2）英語は、言語の勉強です。元氣よく声を出して学習しましょう。（リピートは大きな声で、音読も）
- （3）言語活動を行う際は、日本語はガマンして英語を活用しましょう（インタビュー活動など）
- （4）先生の指示や友達の発表を聞く時は、静かに聞きましょう。

提出物

- （1）チェックシートのサインは、提出日前日までにもらうようにしましょう。
- （2）自己評価表は毎時間必ず提出するようにしましょう。

5 家庭学習のアドバイス

※毎週、月曜日に英語の宿題が出ます。（次の日の朝に提出）

- ・ 復習問題を基本的には出します。はじめは答えを見ずに解き、答え合わせでわからなかったところや間違ったところを確認して習得しよう。
- ・ 単語や、並びかえの問題、語形変化の問題など、高校入試や県到達度テストに出てくる類似した問題をたくさん解き、力をつけましょう。（単元テストや定期テストにも必ず出題します）
- ・ 高校入試は長文問題が年々難しくなっています。長文を読む力をつけるために、少しずつ長文問題にも挑戦していきましょう。

令和3年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学2年 英語科
教科担当	中村 志穂
教科書名	Sunshine 2
副教材名	・ New English Notebook ② ・ エイゴラボ②

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中学生のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動（思考・判断・表現 等）」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力（＝学びに向かう力）」を育成することにつながります。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 英語科の学習について

学習のねらい	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
授業のすすめ方	(1) 始めと終わりのあいさつは英語で行う。 (2) ウォームアップ活動（Warm-up Conversation, Warm-up Reading, Tango de go）を交互に行う。 (3) 今日のめあてと Can-do（B 評価）を確認して学習を始める。 主な活動 ・ 主体的な学びを実現するために、様々なパターンの「ペア活動」や「グループ活動」を取り入れる。 ・ 深い学びを実現するために、互いの考えを伝え合ったあと、情報を整理し、自分の考えを再構築する活動を取り入れる。 (4) まとめに、自己評価表をチェックして今日の英文と振り返りを書く。
学習上の留意点	・ 英語は、積み重ねで力がつく教科なので、コツコツと粘り強く学習に取り組もう。特に単語を覚えることは大切。単語を、①見て読める→②見ないで言える→③正しく書けるの段階でマスターしよう。 ・ 主語と動詞を意識して写本をしよう。英語の並びに慣れて、特徴をつかもう。 ・ 英文を読むときは、チャンク（意味のまとまり）でとらえることを意識しよう。英文を前から日本語に訳していく習慣をつけ、読むスピードをアップしよう。（リスニングの力にもつながる） ・ 英作文は、間違ってもいいので指定された条件の語数を書くようにしよう。スペルミスや文法は全然 OK! 自分の考えや意見を伝える姿勢を大切にしよう。

2 評価について

評価方法	・ 3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」で評価します。 □ 知識・技能は、正確さをみます。（定期テスト、単元テスト、スキット活動、リスニングテスト、スピーチ活動、英語の課題作品、インタビューテストなど） □ 思考・判断・表現は適切さと内容をみます。（定期テスト、単元テスト、スキット活動、リスニングテスト、スピーチ活動、英語の課題作品、インタビューテストなど） □ 主体的に学習に取り組む態度は活動の取り組み、自己調整力をみます。（授業の活動の様子、パフォーマンステストの取り組み、ワークシートの記述、諸テスト、自己評価カードの記述）
定期テスト	□ 単元ごとのテストを行います。 □ 定期テストの範囲は、1週間前までには提示します。 □ 試験範囲の単語や文法、教科書本文やリスニング、他に授業で行った活動や英作文も出題されます。 □ 学びのたしかめや県到達度テストを意識した問題を出題します。

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4 月	・辞書を読んでみよう ○ Program1 Start of a New School Year ・Step1 情報をつながながらメモをとろう	教科書、ノート、ワーク
5 月	○ Program2 Leave Only Footprints ・Power-up1 天気予報を聞こう ・Power-up2 電話をかけよう ・Word web1 スープの材料	
6 月	○ Program3 Taste of Culture ・Steps2 文章の構成を考えよう	
7 月	・Our Project4 「夢の旅行」を企画しよう ・Reading1 Gon, the Little Fox ・Word web2 いろいろな形容詞	
8 月		
9 月	○ Program4 High-Tech Nature ・Word web3 楽器の名前	1 学期定期テスト 6月17日（木）～ 18日（金）
10 月	○ Program5 Work Experience ・Power-Up3 レストランで食事をしよう	
11 月	○ Program6 Live Life in True Harmony ・Step3 会話をつなげ、深めよう ・Our Project5 こんな人になりたい	2 学期期末テスト 11月25日（木） ～26日（金）
12 月	・Reading2 Friendship beyond Time and Borders ・Word web4 いろいろな前置詞	
1 月	○ Program7 A Gateway to Japan ・Step4 相手にわかりやすい説明をしよう ・Power-up4 空港アナウンスを聞こう	
2 月	○ Program8 A Hope for Lasting Peace ・Step5 説得力のある主張をしよう ・Power-up5 メールで近況報告をしよう	学年末テスト 2月8日（火）～10日（木） 県到達度調査 2月17日（木）～18日（金）
3 月	・Our Project6 この1年で得た「宝もの」 ・Word Web5 町の風景 ・Reading3 Visas of Hope	

4 授業をうける心構え

授業

- （1）英語は外国語。できなくて当たり前。失敗を恐れずに前向きに学習しましょう。
- （2）英語は、言語の勉強です。元気よく声を出して学習しましょう。（リピートは大きな声で、音読も）
- （3）言語活動を行う際は、日本語はガマンして英語を活用しましょう（インタビュー活動など）
- （4）先生の指示や友達の発表を聞く時は、静かに聞きましょう。

提出物

- （1）チェックシートのサインは、提出日前日までにもらうようにしましょう。
- （2）自己評価表は毎時間必ず提出するようにしましょう。

5 家庭学習のアドバイス

※毎週、金曜日に英語の宿題が出ます。（翌週月曜日の朝に提出）

- ・復習問題を基本的には出します。はじめは答えを見ずに解き、答え合わせでわからなかったところや間違ったところを確認して習得しよう。
- ・単語や、並びかえの問題、語形変化の問題など、高校入試や県到達度テストに出てくる類似した問題をたくさん解き、力をつけましょう。（単元テストや定期テストにも必ず出題します）
- ・高校入試は長文問題が年々難しくなっています。長文を読む力をつけるために、少しずつ長文問題にも挑戦していきましょう。

令和3年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学1年 英語科
教科担当	渡慶次 尚司
教科書名	Sunshine 3
副教材名	・ New English Notebook ③ ・ エイゴラボ③

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中学生のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動（思考・判断・表現 等）」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力（＝学びに向かう力）」を育成することにつながります。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 英語科の学習について

学習のねらい	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
授業のすすめ方	(1) 始めと終わりのあいさつは英語で行う。 (2) ウォームアップ活動（Warm-up Conversation, Warm-up Reading, Tango de go）を交互に行う。 (3) 今日のめあてと Can-do（B 評価）を確認して学習を始める。 主な活動 ・ 主体的な学びを実現するために、様々なパターンの「ペア活動」や「グループ活動」を取り入れる。 ・ 深い学びを実現するために、互いの考えを伝え合ったあと、情報を整理し、自分の考えを再構築する活動を取り入れる。 (4) まとめに、自己評価表をチェックして今日の英文と振り返りを書く。
学習上の留意点	・ 英語は、積み重ねで力がつく教科なので、コツコツと粘り強く学習に取り組もう。特に単語を覚えることは大切。単語を、①見て読める→②見ないで言える→③正しく書けるの段階でマスターしよう。 ・ 主語と動詞を意識して写本をしよう。英語の並びに慣れて、特徴をつかもう。 ・ 英文を読むときは、チャンク（意味のまとまり）でとらえることを意識しよう。英文を前から日本語に訳していく習慣をつけ、読むスピードをアップしよう。（リスニングの力にもつながる） ・ 英作文は、間違ってもいいので指定された条件の語数を書くようにしよう。スペルミスや文法は全然 OK! 自分の考えや意見を伝える姿勢を大切にしよう。

2 評価について

評価方法	・ 3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」で評価します。 □ 知識・技能は、正確さをみます。（定期テスト、単元テスト、スキット活動、リスニングテスト、スピーチ活動、英語の課題作品、インタビューテストなど） □ 思考・判断・表現は適切さと内容をみます。（定期テスト、単元テスト、スキット活動、リスニングテスト、スピーチ活動、英語の課題作品、インタビューテストなど） □ 主体的に学習に取り組む態度は活動の取り組み、自己調整力をみます。（授業の活動の様子、パフォーマンステストの取り組み、ワークシートの記述、諸テスト、自己評価カードの記述）
定期テスト	□ 単元ごとのテストを行います。 □ 定期テストの範囲は、1週間前までには提示します。 □ 試験範囲の単語や文法、教科書本文やリスニング、他に授業で行った活動や英作文も出題されます。 □ 学びのたしかめや県到達度テストを意識した問題を出題します。

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4 月	・辞書を使いこなそう ○ Program1 Bontos Are Interesting! ・Word web1 家の中と外 ・Step1 ディベートをしよう	教科書、ノート、ワーク
5 月	○ Program2 Good Night, Sleep Tight ・Power-up1 道案内をしよう②（電車の乗り換え）	
6 月	○ Program3 Hot Sport Today ・Steps2 メモのとり方を学ぼう ・記者会見を開こう	
7 月	・Reading1 Faithful Elephants ・Power-up2 不良品を交換しよう	
8 月	○ Program4 Sign Languages, Not Just Gestures! ・Power-up3 ホームページで学校を紹介しよう ・Step3 かんたんな表現で言いかえよう	1 学期定期テスト 6月17日（木）～ 18日（金）
9 月	○ Program5 The Story of Chocolate ・Step4 わかりやすい文章を考えよう	
10 月	・Word web2 動詞の使い分け ○ The Great Pacific Cabbage Patch	2 学期期末テスト 11月25日（木） ～26日（金）
11 月	・Steps5 ディスカッションをしよう ○ Our Project8 あなたの町を世界に PR しよう ・Power-Up4 非常時のアナウンスを聞こう	
12 月	○ Program7 Is AI a Friend or an Enemy? ・Reading2 Malala's Voice for the Future	1月20日（木） 久米島高校連携入試
1 月	・Special Project 中学校の思い出を残そう	
2 月	・高校入試対策	学年末テスト 2月8日（火）～10日（木）
3 月		

4 授業をうける心構え

授業

- （1）英語は外国語。できなくて当たり前。失敗を恐れずに前向きに学習しましょう。
- （2）英語は、言語の勉強です。元気よく声を出して学習しましょう。（リピートは大きな声で、音読も）
- （3）言語活動を行う際は、日本語はガマンして英語を活用しましょう（インタビュー活動など）
- （4）先生の指示や友達の発表を聞く時は、静かに聞きましょう。

提出物

- （1）チェックシートのサインは、提出日前日までにもらうようにしましょう。
- （2）自己評価表は毎時間必ず提出するようにしましょう。

5 家庭学習のアドバイス

※毎週、木曜日に英語の宿題が出ます。（次の日の朝に提出）

- ・復習問題を基本的には出します。はじめは答えを見ずに解き、答え合わせでわからなかったところや間違ったところを確認して習得しよう。
- ・単語や、並びかえの問題、語形変化の問題など、高校入試や県到達度テストに出てくる類似した問題をたくさん解き、力をつけましょう。（単元テストや定期テストにも必ず出題します）
- ・高校入試は長文問題が年々難しくなっています。長文を読む力をつけるために、少しずつ長文問題にも挑戦していきましょう。